

平成31年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年6月6日

上場会社名 株式会社 三井ハイテック 上場取引所 東 福
 コード番号 6966 URL http://www.mitsui-high-tec.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三井 康誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 白川 裕之 TEL 093-614-1111
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第1四半期の連結業績（平成30年2月1日～平成30年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第1四半期	20,391	9.9	251	△50.4	305	△28.6	345	△63.0
30年1月期第1四半期	18,553	16.3	506	43.4	428	84.2	934	126.2

(注) 包括利益 31年1月期第1四半期 120百万円 (△64.7%) 30年1月期第1四半期 341百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第1四半期	9.05	—
30年1月期第1四半期	24.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第1四半期	79,086		49,667			62.6
30年1月期	72,298		50,494			69.6

(参考) 自己資本 31年1月期第1四半期 49,486百万円 30年1月期 50,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	6.00	—	10.00	16.00
31年1月期	—	—	—	—	—
31年1月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年1月期の連結業績予想（平成30年2月1日～平成31年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	10.7	800	△36.7	800	△33.8	600	△63.5	15.78
通期	87,000	10.5	1,500	△30.0	1,500	△19.2	1,000	△47.5	26.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期1Q	42,466,865株	30年1月期	42,466,865株
② 期末自己株式数	31年1月期1Q	4,452,026株	30年1月期	4,101,874株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期1Q	38,210,984株	30年1月期1Q	38,650,869株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、個人消費は足踏みがみられましたが総じて緩やかな景気回復が続きました。

米国経済は堅調な雇用情勢を背景に経済成長が持続しており、欧州経済も政治情勢に対する懸念は残るものの底堅い成長が続いております。また、中国経済においては外需拡大により、景気は安定的に推移しました。

そのなかで、当社グループの主たる供給先である家電及び半導体業界においては、スマートフォン向け半導体に在庫調整の動きがみられますが、車載向け半導体の需要は堅調に推移しました。また、自動車業界においても、ハイブリッド車、電気自動車が堅調に推移しました。一方、為替相場は前年同期比4円93銭円高の107円16銭/米ドルで推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、省資源・省エネルギーに貢献する製品・部品の受注拡大、グローバルな新規顧客の開拓及び全グループを挙げて生産性向上と原価低減に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は203億9千1百万円(前年同期比9.9%増)となりました。一方、将来の市場拡大と受注拡大を見据え、成長分野への積極的な投資を行った結果、減価償却費は前年同期比2億4千1百万円増の14億1千万円(前年同期11億6千9百万円)を計上するなど営業費用が増加したことに加え、スマートフォン向け半導体の在庫調整による電子部品事業の稼働率低下及び前年同期比で円高となった影響もあり、営業利益は2億5千1百万円(前年同期比50.4%減)となりました。

経常利益は、当第1四半期連結累計期間で2千5百万円の為替差益を計上したことなどにより、3億5百万円(前年同期比28.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として設備投資に関する補助金収入1億7千4百万円を計上したことなどにより、3億4千5百万円(前年同期比63.0%減)となりました。なお、前年同期は、税効果会計の新たな適用指針に基づき法人税等調整額△6億4百万円(△は益)を一括計上しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金型)

金型事業については、超精密加工技術の追求により省資源・省エネ化などをはじめとしたお客様のニーズに対応しました。売上高は品種構成の変化などにより17億8千6百万円(前年同期比3.6%減)となりましたが、生産性向上と原価低減などに取り組んだ結果、営業利益は2億円(前年同期比40.3%増)となりました。

(電子部品)

電子部品事業については、車載向け製品の受注などが堅調に推移した結果、売上高は109億4千4百万円(前年同期比9.1%増)となりました。しかし、今後需要の拡大が予想されるスマートフォンを始めとした情報端末向けや車載向けリードフレームの生産能力増強により営業費用が増加したなか、スマートフォン向け製品の在庫調整により受注が落ちたため生産能力増強分を満たすことができませんでした。さらに為替相場が円高に推移したことが影響し、営業利益は3千3百万円(前年同期比89.1%減)となりました。

(電機部品)

電機部品事業については、試作から量産までの一貫体制を活かし、車載及び家電用のモーターコアの拡販活動と生産性向上に取り組みました。その結果、車載及び家電製品向けの需要が増加したことにより、売上高は80億9千7百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は6億7千4百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

(工作機械)

工作機械事業については、電子部品向け市場や自動車向け市場を中心に拡販活動を実施しました。その結果、売上高は4億4千4百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益は生産性向上と原価低減も寄与し、3千5百万円(前年同期は営業損失2千4百万円)となりました。

なお、上記セグメント売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高8億8千万円を含めて表示していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,837	17,142
受取手形及び売掛金	12,312	12,460
電子記録債権	2,218	2,600
有価証券	1,500	2,600
商品及び製品	2,953	3,448
仕掛品	2,139	2,491
原材料及び貯蔵品	1,677	1,826
繰延税金資産	202	181
その他	1,712	1,279
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	37,540	44,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,139	31,218
減価償却累計額	△22,330	△22,457
建物及び構築物(純額)	8,809	8,761
機械装置及び運搬具	49,936	51,046
減価償却累計額	△38,197	△38,704
機械装置及び運搬具(純額)	11,739	12,342
工具、器具及び備品	21,716	21,862
減価償却累計額	△19,316	△19,517
工具、器具及び備品(純額)	2,400	2,345
土地	7,374	7,573
建設仮勘定	1,577	1,204
有形固定資産合計	31,900	32,226
無形固定資産	381	367
投資その他の資産		
投資有価証券	1,061	1,014
繰延税金資産	380	374
退職給付に係る資産	256	270
その他	777	815
投資その他の資産合計	2,476	2,474
固定資産合計	34,758	35,068
資産合計	72,298	79,086

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,670	5,168
1年内返済予定の長期借入金	1,387	1,649
未払法人税等	455	172
役員賞与引当金	59	7
その他	4,293	3,573
流動負債合計	10,865	10,571
固定負債		
長期借入金	10,606	18,510
役員退職慰労引当金	159	165
事業整理損失引当金	134	133
退職給付に係る負債	37	37
固定負債合計	10,938	18,847
負債合計	21,804	29,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,403	16,403
資本剰余金	17,252	17,252
利益剰余金	19,840	19,802
自己株式	△3,076	△3,633
株主資本合計	50,420	49,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	384
為替換算調整勘定	△493	△698
退職給付に係る調整累計額	△30	△24
その他の包括利益累計額合計	△105	△338
非支配株主持分	179	181
純資産合計	50,494	49,667
負債純資産合計	72,298	79,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)
売上高	18,553	20,391
売上原価	15,871	17,917
売上総利益	2,681	2,474
販売費及び一般管理費	2,174	2,223
営業利益	506	251
営業外収益		
受取利息	14	20
為替差益	—	25
その他	33	38
営業外収益合計	48	85
営業外費用		
支払利息	4	9
為替差損	95	—
固定資産除売却損	25	7
その他	1	13
営業外費用合計	126	30
経常利益	428	305
特別利益		
補助金収入	—	174
特別利益合計	—	174
税金等調整前四半期純利益	428	480
法人税等	△513	126
四半期純利益	942	354
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	934	345

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益	942	354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△34
為替換算調整勘定	△559	△205
退職給付に係る調整額	△25	6
その他の包括利益合計	△600	△233
四半期包括利益	341	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	112
非支配株主に係る四半期包括利益	8	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	1,190	10,031	6,994	336	18,553	—	18,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	662	0	0	53	717	(717)	—
計	1,852	10,031	6,995	390	19,270	(717)	18,553
セグメント利益又は損失(△)	142	309	556	△24	983	(477)	506

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△477百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年2月1日至平成30年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	952	10,943	8,097	398	20,391	—	20,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	833	0	—	46	880	(880)	—
計	1,786	10,944	8,097	444	21,272	(880)	20,391
セグメント利益	200	33	674	35	944	(692)	251

(注) 1. セグメント利益の調整額△692百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。